

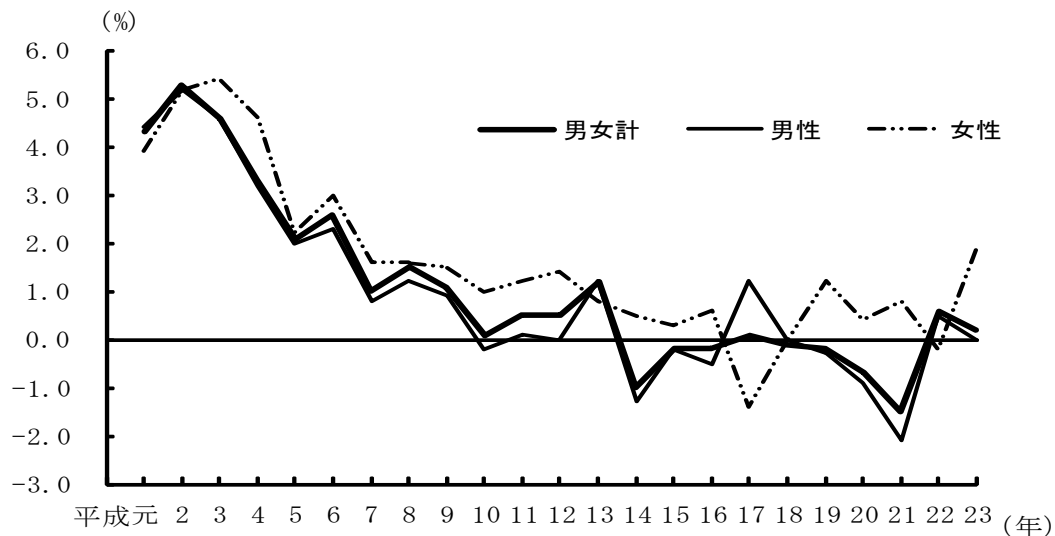
Ⅱ 調査結果の概況

1 一般労働者の賃金

(1) 賃金の推移

賃金は、男女計296.8千円(平均41.5歳、勤続11.9年)、男性328.3千円(平均42.3歳、勤続13.3年)、女性231.9千円(平均39.9歳、勤続9.0年)となっており、前年と比べると、男女計では0.2%、女性では1.9%それぞれ上昇している(第1図、第1表)。

第1図 性別賃金の対前年増減率の推移



第1表 性別賃金及び対前年増減率の推移

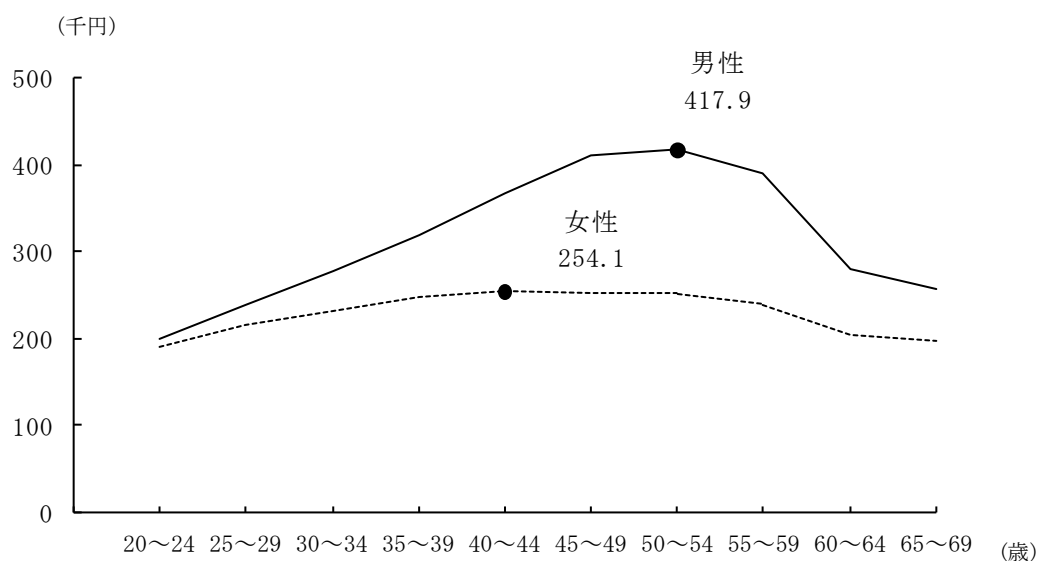
年	男女計		男性		女性	
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)
平成元年	241.8	4.3	276.1	4.4	166.3	3.9
2	254.7	5.3	290.5	5.2	175.0	5.2
3	266.3	4.6	303.8	4.6	184.4	5.4
4	275.2	3.3	313.5	3.2	192.8	4.6
5	281.1	2.1	319.9	2.0	197.0	2.2
6	288.4	2.6	327.4	2.3	203.0	3.0
7	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6
8	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6
9	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5
10	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0
11	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2
12	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4
13	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8
14	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5
15	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3
16	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6
17	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4
18	301.8	-0.1	337.7	-0.0	222.6	0.0
19	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2
20	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4
21	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8
22	296.2	0.6	328.3	0.5	227.6	-0.2
23	296.8	0.2	328.3	0.0	231.9	1.9
平成23年 平均年齢(歳)	41.5		42.3		39.9	
勤続年数(年)	11.9		13.3		9.0	

(2) 性別にみた賃金

性別に賃金カーブ※をみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金も上昇し、50～54歳で417.9千円（20～24歳の賃金を100とすると208）と賃金がピークとなり、その後下降している。女性では、40～44歳の254.1千円（同133）がピークとなっているが、男性に比べ、賃金カーブは緩やかとなっている。（第2図、第2表）

※賃金カーブとは、年齢(階級)とともに変化する賃金額の状況をグラフで表したものをいう。以下同じ。

第2図 性、年齢階級別賃金



注：線上の●印は賃金ピークを示す。以下同じ。

第2表 性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	328.3	0.0	164	231.9	1.9	122
20～24歳	200.7	0.5	100	190.7	0.6	100
25～29	238.5	0.7	119	215.0	0.0	113
30～34	277.8	-0.2	138	233.1	1.0	122
35～39	319.9	-0.7	159	247.5	2.3	130
40～44	368.1	-0.6	183	254.1	2.6	133
45～49	411.1	0.5	205	253.2	1.6	133
50～54	417.9	0.2	208	251.9	2.6	132
55～59	390.8	-0.4	195	239.3	3.5	125
60～64	281.4	-0.6	140	205.2	-0.4	108
65～69	257.5	-2.7	128	198.0	-0.5	104
平均年齢(歳)	42.3			39.9		
勤続年数(年)	13.3			9.0		

注：年齢計には、上掲の年齢階級に限らず、すべての年齢の者を含む。以下同じ。

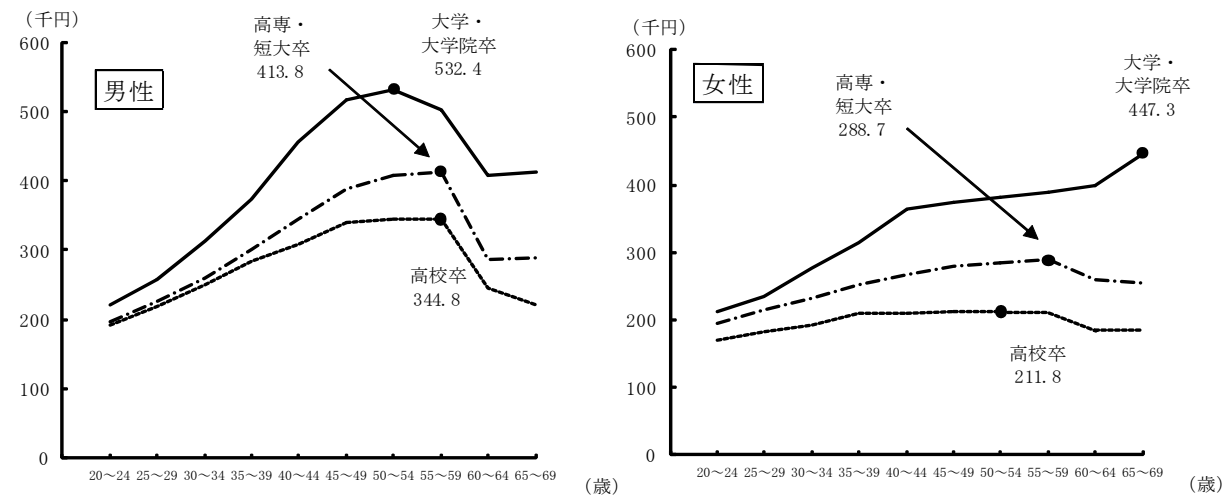
(3) 学歴別にみた賃金

学歴別に賃金をみると、男性では、大学・大学院卒が399.4千円（前年比1.0%増）、高専・短大卒が301.0千円（同0.3%増）、高校卒が286.2千円（同1.0%減）となっており、高校卒が前年を下回っている。女性では、大学・大学院卒が283.4千円（同3.2%増）、高専・短大卒が245.3千円（同1.0%増）、高校卒が199.7千円（同0.2%増）となっており、前年を上回っている。

学歴別に賃金がピークとなる年齢階級をみると、男性では、大学・大学院卒で50～54歳、高専・短大卒及び高校卒で55～59歳、女性では、大学・大学院卒で65～69歳、高専・短大卒で55～59歳、高校卒で50～54歳となっている。

学歴別に賃金カーブをみると、男女いずれも大学・大学院卒の賃金カーブが急になっている。（第3図、第3表）

第3図 学歴、性、年齢階級別賃金



第3表 学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

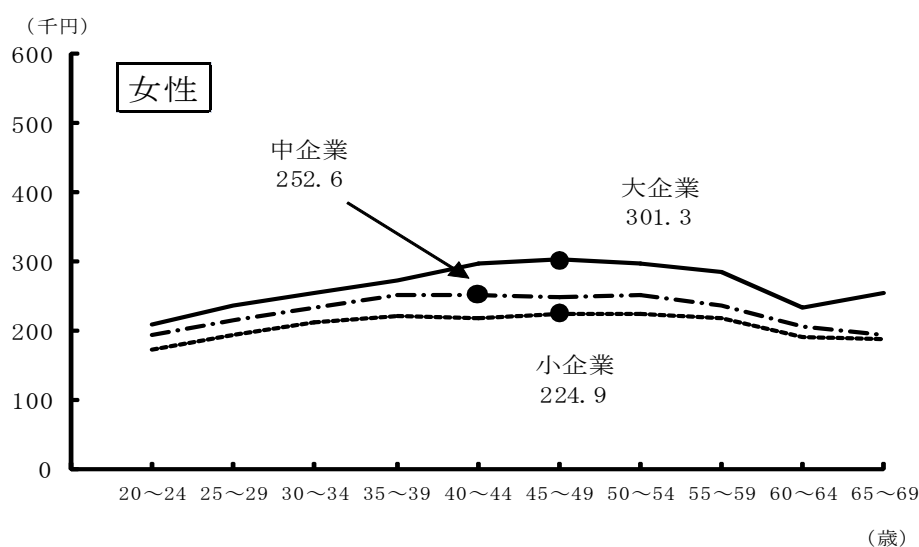
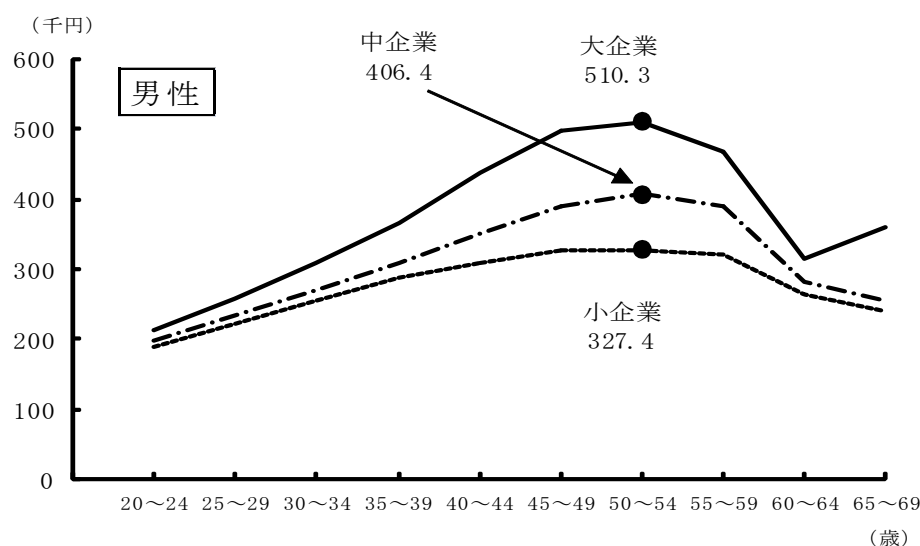
性、 年齢階級		大学・大学院卒			高専・短大卒			高校卒			
		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	
男性	年齢計	399.4	1.0	181	301.0	0.3	154	286.2	-1.0	150	
	20～24歳	221.1	1.3	100	195.9	1.2	100	190.7	0.2	100	
	25～29	257.5	1.9	116	226.8	1.0	116	218.7	-1.4	115	
	30～34	312.7	0.9	141	260.2	-1.6	133	249.3	-1.4	131	
	35～39	374.2	0.2	169	300.9	-1.7	154	283.1	-0.8	148	
	40～44	456.0	0.4	206	345.8	0.9	177	307.8	-2.1	161	
	45～49	518.4	2.1	234	387.4	0.7	198	339.0	-0.8	178	
	50～54	532.4	1.6	241	409.0	1.1	209	343.8	-2.5	180	
	55～59	503.0	-1.8	227	413.8	2.2	211	344.8	-0.2	181	
	60～64	407.3	1.1	184	285.2	-4.8	146	244.4	0.6	128	
65～69	412.7	-7.5	187	287.9	-1.0	147	220.7	2.0	116		
平均年齢(歳)		41.1			38.3			43.3			
勤続年数(年)		12.6			11.3			14.0			
女性	年齢計	283.4	3.2	133	245.3	1.0	127	199.7	0.2	118	
	20～24歳	212.6	1.1	100	193.6	1.5	100	169.5	-1.7	100	
	25～29	235.6	0.3	111	214.1	-0.5	111	182.2	-1.6	107	
	30～34	276.0	3.4	130	231.0	-1.8	119	192.9	-0.6	114	
	35～39	314.3	2.4	148	251.1	0.4	130	208.5	0.1	123	
	40～44	364.5	5.5	171	266.8	-0.1	138	210.1	0.7	124	
	45～49	373.1	0.2	175	278.3	2.2	144	211.5	0.5	125	
	50～54	380.3	-0.3	179	285.2	2.4	147	211.8	0.9	125	
	55～59	388.8	2.3	183	288.7	2.0	149	211.6	1.3	125	
	60～64	398.7	-1.9	188	260.1	0.7	134	184.1	-2.8	109	
	65～69	447.3	13.2	210	254.0	-9.0	131	185.8	2.4	110	
	平均年齢(歳)		34.2			38.2			43.2		
	勤続年数(年)		6.7			8.9			10.1		

(4) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に賃金をみると、男性では、大企業が386.1千円（前年比0.8%増）、中企業が316.1千円（同0.2%減）、小企業が282.4千円（同1.0%減）、女性では、大企業が262.8千円（同3.2%増）、中企業が230.9千円（同1.6%増）、小企業が208.1千円（同0.6%増）となっており、男性は大企業が前年を上回り、女性は全ての企業規模において前年を上回っている。また、大企業の賃金を100とすると、中企業の賃金は、男性で82（前年83）、女性で88（同89）、小企業の賃金は、男性で73（同75）、女性で79（同81）となっている。

賃金がピークとなる年齢階級を企業規模別にみると、男性では、全ての企業規模において50～54歳で、大企業510.3千円（20～24歳の賃金を100とすると240）、中企業406.4千円（同205）、小企業327.4千円（同174）となっている。女性では、大企業及び小企業が45～49歳で、大企業301.3千円（同145）、小企業224.9千円（同130）であり、中企業が40～44歳で252.6千円（同131）となっており、男性に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。（第4図、第4表）

第4図 企業規模、性、年齢階級別賃金



第4表 企業規模、性、年齢階級別賃金、対前年増減率、企業規模間賃金格差及び年齢階級間賃金格差

性、 年齢階級		大企業				中企業				小企業			
		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金格差	
				企業規模 間格差 (大企業＝ 100)	年齢階級 間格差 (20～24 歳＝100)			企業規模 間格差 (大企業＝ 100)	年齢階級 間格差 (20～24 歳＝100)			企業規模 間格差 (大企業＝ 100)	年齢階級 間格差 (20～24 歳＝100)
男 性	年齢計	386.1	0.8	100	182	316.1	-0.2	82 (83)	159	282.4	-1.0	73 (75)	150
	20～24歳	212.4	1.2	100	100	198.3	0.9	93 (94)	100	188.4	-1.9	89 (92)	100
	25～29	257.2	1.5	100	121	234.2	1.6	91 (91)	118	221.1	-2.0	86 (89)	117
	30～34	309.6	1.6	100	146	269.6	-0.3	87 (89)	136	255.9	-2.5	83 (86)	136
	35～39	364.4	0.6	100	172	309.0	-1.1	85 (86)	156	286.4	-1.7	79 (81)	152
	40～44	436.2	0.0	100	205	350.7	-0.8	80 (81)	177	308.9	-1.1	71 (72)	164
	45～49	497.8	2.3	100	234	389.3	-0.6	78 (80)	196	326.1	-1.9	66 (68)	173
	50～54	510.3	1.2	100	240	406.4	-0.2	80 (81)	205	327.4	-1.3	64 (66)	174
	55～59	466.6	-1.0	100	220	389.8	0.2	84 (83)	197	322.0	0.2	69 (68)	171
	60～64	313.5	-6.0	100	148	282.7	3.0	90 (82)	143	263.8	-0.5	84 (79)	140
	65～69	359.5	-1.9	100	169	253.4	-5.9	70 (74)	128	240.8	1.4	67 (65)	128
	平均年齢(歳)	41.5				41.8				43.6			
	勤続年数(年)	15.9				12.7				11.3			
女 性	年齢計	262.8	3.2	100	126	230.9	1.6	88 (89)	120	208.1	0.6	79 (81)	120
	20～24歳	208.0	3.0	100	100	192.4	1.6	93 (94)	100	173.4	-3.0	83 (89)	100
	25～29	234.9	2.5	100	113	213.9	-0.7	91 (94)	111	194.9	-2.1	83 (87)	112
	30～34	255.4	2.2	100	123	233.9	1.5	92 (92)	122	210.6	-0.9	82 (85)	121
	35～39	273.4	1.5	100	131	249.8	3.8	91 (89)	130	220.1	1.1	81 (81)	127
	40～44	295.2	2.5	100	142	252.6	3.4	86 (85)	131	217.8	-0.4	74 (76)	126
	45～49	301.3	3.9	100	145	246.7	-0.9	82 (86)	128	224.9	1.9	75 (76)	130
	50～54	297.6	1.8	100	143	251.0	3.1	84 (83)	130	224.0	2.1	75 (75)	129
	55～59	283.6	4.0	100	136	236.0	2.0	83 (85)	123	218.4	3.8	77 (77)	126
	60～64	233.3	-6.0	100	112	207.0	1.8	89 (82)	108	191.9	-0.3	82 (78)	111
	65～69	253.7	-2.2	100	122	192.9	-2.7	76 (76)	100	188.2	1.4	74 (72)	109
	平均年齢(歳)	38.5				39.5				41.4			
	勤続年数(年)	10.2				8.4				8.8			

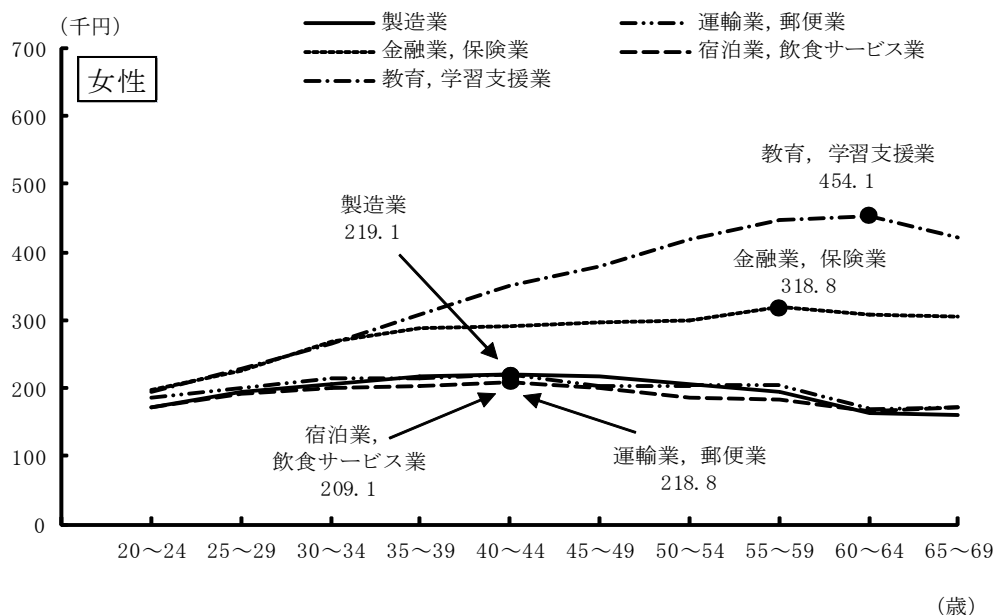
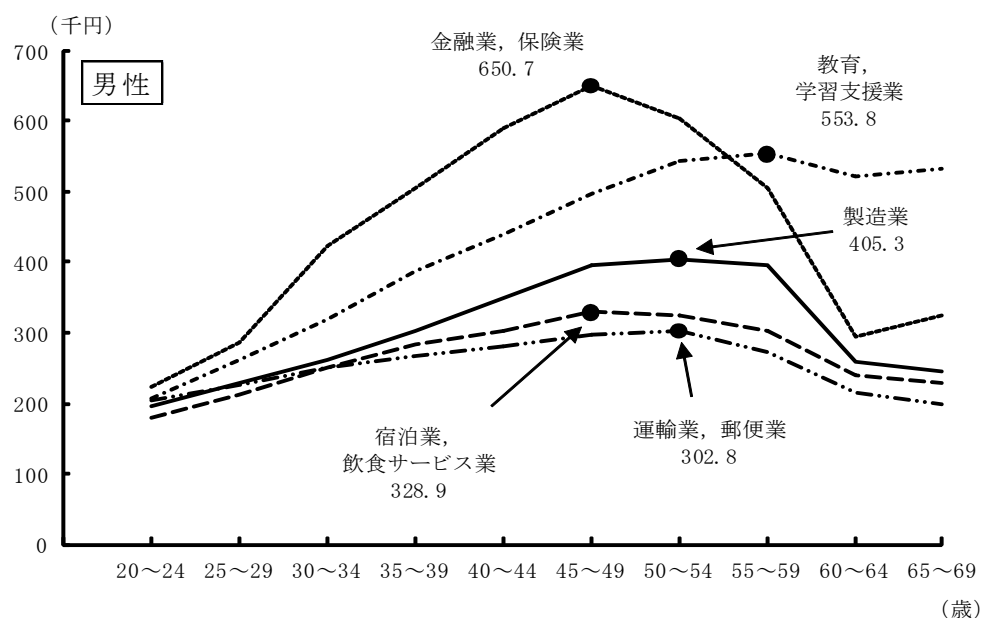
注：()内は、平成22年の数値である。

(5) 産業別にみた賃金

主な産業別に賃金をみると、男性では、金融業、保険業(492.3千円)が最も高く、次いで教育、学習支援業(449.3千円)となり、運輸業、郵便業(264.4千円)が最も低くなっている。女性では、教育、学習支援業(307.4千円)が最も高く、宿泊業、飲食サービス業(186.9千円)が最も低くなっている。

産業別に賃金カーブをみると、男性では、金融業、保険業は45～49歳で賃金がピークとなり、その後は大きく下降している。また、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業は他の産業に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。女性では、金融業、保険業、教育、学習支援業は、年齢階級が高くなるとともにおおむね賃金も上昇しているが、製造業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業は他の産業に比べ賃金カーブが緩やかとなっている。(第5図、第5表)

第5図 産業、性、年齢階級別賃金



第5表 主な産業、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、 年齢階級			建設業	製造業	情報通信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	学術研究、 専門・技術 サービス業	宿泊業、 飲食サービ ス業	生活関連 サービス業、 娯楽業	教育、学習 支援業	医療、 福祉	サービス業 (他に分類 されないもの)
男性	賃 金 (千 円)	年齢計	325.3	314.8	407.8	264.4	323.4	492.3	402.5	268.2	287.5	449.3	345.9	274.8
		20～24歳	206.3	195.7	230.0	202.9	196.7	223.8	214.3	180.0	197.1	206.2	205.7	194.7
		25～29	238.1	229.1	265.8	225.7	235.0	287.5	266.2	213.7	228.0	262.9	242.8	227.7
		30～34	274.3	260.8	330.9	249.9	272.1	423.7	314.8	249.4	274.9	319.3	283.1	254.4
		35～39	316.1	302.7	395.4	268.1	317.6	504.6	366.9	284.8	314.5	388.0	328.3	286.8
		40～44	357.0	348.4	461.5	281.1	368.0	590.9	448.3	301.6	340.7	440.2	405.1	307.0
		45～49	379.8	395.0	544.9	296.2	400.9	650.7	517.6	328.9	363.1	497.3	477.4	329.7
		50～54	391.3	405.3	613.1	302.8	412.4	603.4	550.2	325.7	360.8	542.5	494.2	329.0
		55～59	392.9	395.9	521.4	272.5	405.0	505.9	499.2	303.4	337.6	553.8	486.8	311.1
		60～64	301.9	258.7	361.1	215.9	276.5	293.9	357.4	241.1	250.4	522.4	474.9	239.7
		65～69	247.5	244.7	* 415.8	198.3	229.6	325.9	296.9	229.5	212.3	533.7	* 479.2	194.3
	対前年 増減率(%)		1.4	-1.2	6.5	-1.8	-3.0	5.4	-1.3	0.3	1.1	0.8	-1.6	0.6
	平均年齢 (歳)		44.1	41.6	39.1	46.2	41.0	42.5	42.1	40.5	39.2	46.5	38.7	44.8
	勤続年数 (年)		14.2	15.0	12.5	12.1	13.6	15.5	13.8	9.5	9.2	14.0	8.0	9.4
	(20～24歳 ～ 65～69歳) 年齢階級間賃金格差	年齢計	158	161	177	130	164	220	188	149	146	218	168	141
		20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		25～29	115	117	116	111	119	128	124	119	116	127	118	117
		30～34	133	133	144	123	138	189	147	139	139	155	138	131
		35～39	153	155	172	132	161	225	171	158	160	188	160	147
		40～44	173	178	201	139	187	264	209	168	173	213	197	158
		45～49	184	202	237	146	204	291	242	183	184	241	232	169
		50～54	190	207	267	149	210	270	257	181	183	263	240	169
		55～59	190	202	227	134	206	226	233	169	171	269	237	160
		60～64	146	132	157	106	141	131	167	134	127	253	231	123
		65～69	120	125	181	98	117	146	139	128	108	259	233	100
女性	賃 金 (千 円)	年齢計	224.0	200.4	288.0	203.4	213.4	268.2	282.7	186.9	204.5	307.4	247.0	207.3
		20～24歳	187.3	171.9	213.6	184.8	182.0	196.6	222.1	171.8	181.3	195.6	202.3	179.6
		25～29	207.3	194.5	242.5	201.0	205.3	225.4	233.9	191.2	198.1	229.8	225.0	206.5
		30～34	214.2	204.6	282.1	213.9	216.6	267.3	287.3	200.6	217.8	264.6	242.6	213.8
		35～39	226.3	216.2	300.1	214.2	229.2	288.9	307.4	203.7	224.8	309.3	263.4	218.8
		40～44	238.6	219.1	342.5	218.8	236.8	290.9	311.9	209.1	230.0	350.2	266.5	226.1
		45～49	242.7	216.5	354.6	202.3	230.8	295.5	343.0	200.3	218.7	379.0	265.7	222.2
		50～54	245.1	206.6	423.8	203.2	222.7	300.5	327.0	185.1	217.1	418.7	270.8	211.7
		55～59	236.2	194.3	371.2	205.7	214.6	318.8	298.7	183.5	204.0	447.1	267.7	194.9
		60～64	202.6	162.2	247.6	169.8	172.1	307.1	297.3	166.5	171.6	454.1	235.6	170.8
		65～69	205.3	160.3	* 235.3	172.7	168.0	305.7	* 231.4	170.7	164.9	* 421.2	216.4	155.7
	対前年 増減率(%)		4.0	0.5	0.2	-0.1	-2.0	6.4	3.5	-0.1	-1.4	2.6	1.5	2.7
	平均年齢 (歳)		41.7	41.9	34.9	40.5	38.7	39.1	36.4	40.2	38.3	38.2	40.0	40.8
	勤続年数 (年)		11.4	11.1	8.0	8.6	9.1	10.5	8.6	7.2	7.5	9.8	7.9	6.7
	(20～24歳 ～ 65～69歳) 年齢階級間賃金格差	年齢計	120	117	135	110	117	136	127	109	113	157	122	115
		20～24歳	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		25～29	111	113	114	109	113	115	105	111	109	117	111	115
		30～34	114	119	132	116	119	136	129	117	120	135	120	119
		35～39	121	126	140	116	126	147	138	119	124	158	130	122
		40～44	127	127	160	118	130	148	140	122	127	179	132	126
		45～49	130	126	166	109	127	150	154	117	121	194	131	124
		50～54	131	120	198	110	122	153	147	108	120	214	134	118
		55～59	126	113	174	111	118	162	134	107	113	229	132	109
		60～64	108	94	116	92	95	156	134	97	95	232	116	95
		65～69	110	93	110	93	92	155	104	99	91	215	107	87

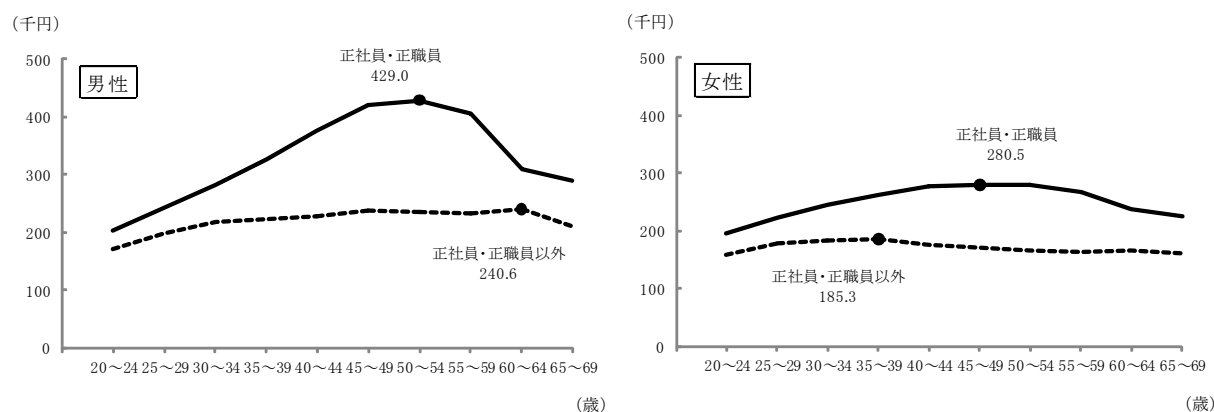
(6) 雇用形態別の賃金

雇用形態別の賃金をみると、正社員・正職員312.8千円（平均40.9歳、勤続12.7年）、正社員・正職員以外195.9千円（平均45.1歳、勤続6.9年）となっている。男女別にみると、男性では、正社員・正職員339.6千円（前年比0.3%増）、正社員・正職員以外222.2千円（同2.9%減）、女性では、正社員・正職員248.8千円（同2.0%増）、正社員・正職員以外172.2千円（同0.8%増）となっている。

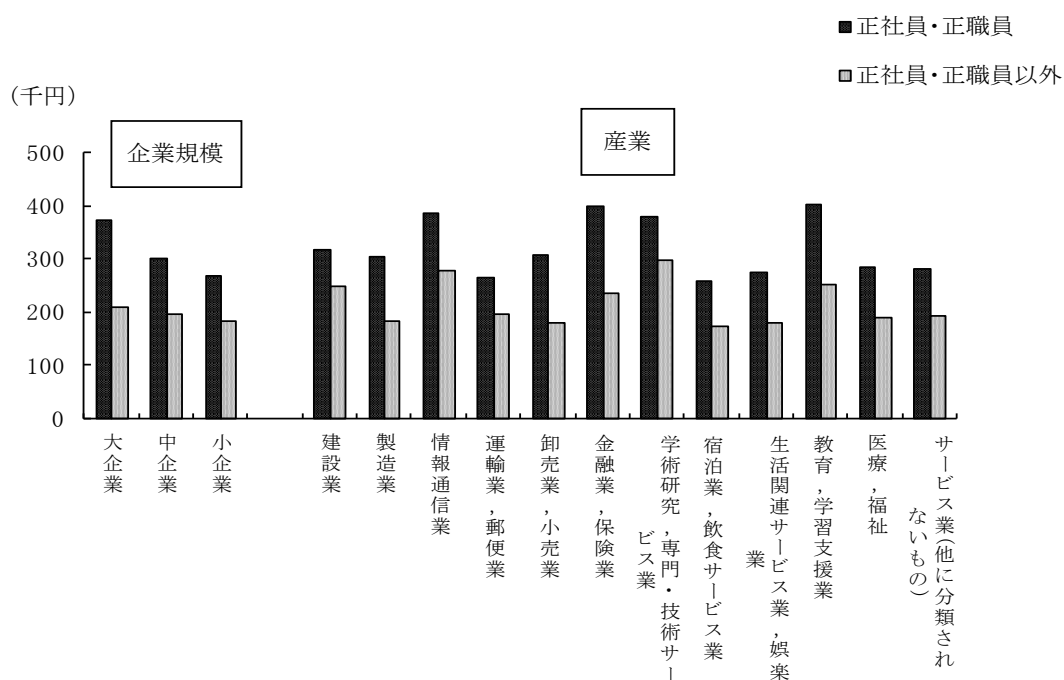
年齢階級別にみると、正社員・正職員以外は、男女いずれも年齢階級が高くなっても賃金の上昇があまり見られない。

正社員・正職員の賃金を100とすると、正社員・正職員以外の賃金は、男女計で63（前年64）、男性で65（同68）、女性で69（同70）となっている。なお、企業規模別では、大企業で56（同60）、主な産業別では、卸売業、小売業及び金融業、保険業で58（同59）と、賃金格差が大きくなっている。（第6図、第7図、第6表、第7表、第8表）

第6図 雇用形態、性、年齢階級別賃金



第7図 雇用形態、企業規模・産業別賃金



第6表 雇用形態、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

年齢階級	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
年齢計	312.8	0.4	195.9	-1.1	63 (64)	339.6	0.3	222.2	-2.9	65 (68)	248.8	2.0	172.2	0.8	69 (70)
20～24歳	200.5	0.7	164.5	-1.3	82 (84)	204.3	0.6	170.6	-0.8	84 (85)	196.2	0.9	159.9	-1.6	81 (84)
25～29	235.0	0.5	187.8	-0.1	80 (80)	242.6	0.7	199.2	0.5	82 (82)	222.5	0.1	177.9	-0.7	80 (81)
30～34	271.3	-0.1	198.8	0.3	73 (73)	282.8	-0.1	217.2	-0.1	77 (77)	244.7	0.8	183.9	0.2	75 (76)
35～39	309.5	-0.1	201.2	0.0	65 (65)	325.9	-0.3	223.3	-3.5	69 (71)	262.9	2.1	185.3	2.0	70 (71)
40～44	350.5	-0.4	193.4	0.4	55 (55)	375.5	-0.5	226.7	-2.5	60 (62)	276.4	2.2	175.0	1.6	63 (64)
45～49	383.7	0.5	191.5	0.9	50 (50)	420.1	0.7	237.2	0.6	56 (56)	280.5	1.9	171.3	0.5	61 (62)
50～54	389.8	0.3	190.3	-1.1	49 (50)	429.0	0.4	236.5	-3.2	55 (57)	280.3	2.9	166.6	0.8	59 (61)
55～59	372.5	0.3	193.9	-2.9	52 (54)	406.6	0.2	231.7	-7.8	57 (62)	267.8	2.8	163.1	1.6	61 (62)
60～64	291.1	1.1	219.3	-3.2	75 (79)	308.9	1.2	240.6	-4.3	78 (82)	237.1	-0.6	165.4	1.4	70 (68)
65～69	272.8	-2.6	197.2	-5.1	72 (74)	289.6	-3.2	210.4	-6.0	73 (75)	224.5	-2.0	161.6	4.0	72 (68)
平均年齢(歳)	40.9		45.1			41.7		47.3			38.9		43.1		
勤続年数(年)	12.7		6.9			13.9		7.8			9.8		6.2		

注:()内は、平成22年の数値である。

第7表 雇用形態、性、企業規模別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

企業規模	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
大企業	372.5	1.5	209.5	-4.7	56 (60)	400.2	1.3	238.8	-7.0	60 (65)	288.3	4.1	182.5	-0.6	63 (66)
中企業	303.0	-0.1	195.0	1.1	64 (64)	328.9	0.2	218.3	-0.6	66 (67)	248.3	0.9	174.0	1.8	70 (69)
小企業	267.4	-0.6	183.0	-0.2	68 (68)	289.0	-1.0	210.6	-0.7	73 (73)	219.5	0.8	158.5	0.4	72 (73)

注:()内は、平成22年の数値である。

第8表 雇用形態、性、主な産業別賃金、対前年増減率及び雇用形態間賃金格差

産業	男女計					男性					女性				
	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)	正社員・正職員		正社員・正職員以外		雇用形態間賃金格差 (正社員・正職員=100)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	
産業計	312.8	0.4	195.9	-1.1	63 (64)	339.6	0.3	222.2	-2.9	65 (68)	248.8	2.0	172.2	0.8	69 (70)
建設業	318.8	1.6	248.5	0.6	78 (79)	330.3	1.4	261.5	0.3	79 (80)	229.1	4.1	182.1	2.7	79 (81)
製造業	304.5	-0.7	184.0	-1.5	60 (61)	324.5	-0.9	210.3	-2.5	65 (66)	217.3	1.1	155.4	-0.8	72 (73)
情報通信業	387.8	4.8	279.9	8.7	72 (70)	411.5	6.6	342.5	12.0	83 (79)	302.9	0.7	224.6	6.0	74 (70)
運輸業、郵便業	266.2	-1.8	197.6	4.9	74 (69)	270.8	-2.0	208.7	5.5	77 (72)	219.2	-0.3	165.2	-1.4	75 (76)
卸売業、小売業	308.7	-2.1	179.1	-4.2	58 (59)	333.7	-2.4	206.9	-8.0	62 (66)	235.7	-1.3	163.2	-1.6	69 (69)
金融業、保険業	401.4	7.5	234.4	6.0	58 (59)	500.0	5.6	305.4	3.6	61 (62)	275.5	6.7	198.7	5.1	72 (73)
学術研究、専門・技術サービス業	379.7	-1.6	299.6	-14.2	79 (91)	406.8	-0.8	342.5	-12.5	84 (95)	289.7	1.4	245.6	15.4	85 (74)
宿泊業、飲食サービス業	258.3	0.2	174.6	-1.7	68 (69)	283.4	0.3	195.7	-1.5	69 (70)	204.3	0.5	159.9	-1.5	78 (80)
生活関連サービス業、娯楽業	275.7	0.7	181.6	0.1	66 (66)	306.8	0.6	200.1	3.4	65 (63)	224.6	-0.5	170.3	-2.0	76 (77)
教育、学習支援業	403.4	1.0	251.4	4.1	62 (60)	462.0	1.2	293.7	2.8	64 (63)	319.9	2.7	214.5	4.7	67 (66)
医療、福祉	284.2	-0.3	189.0	1.9	67 (65)	358.7	-2.6	226.5	3.9	63 (59)	256.8	1.1	178.5	1.5	70 (69)
サービス業 (他に分類されないもの)	281.2	1.8	194.2	-1.2	69 (71)	298.6	1.8	203.1	-2.5	68 (71)	227.2	3.9	182.9	-0.7	81 (84)

注:1)産業計には、上掲のほか、鉱業、採石業、砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業を含む。

2) ()内は、平成22年の数値である。

(7) 賃金の分布

賃金の分布を男女別にみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金階級の高い層におおむねより多くの労働者が分布している。一方、女性では、30～34歳までは年齢階級が高くなるとともに賃金階級の高い層におおむねより多くの労働者が分布しているが、それ以降は低い賃金階級に多く分布している。

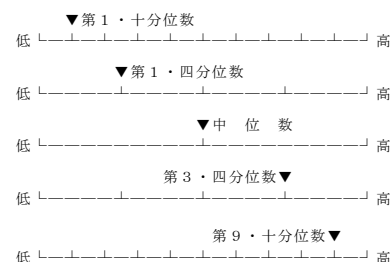
賃金の散らばりをみると、男女いずれも年齢階級が高くなるとともにおおむね大きくなっている。また、学歴別に分位数で広がりを見ると、男女とも大学・大学院卒が他の学歴に比べ、大きくなっている。（第9表、第8図）

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2－1）

賃 金 階 級	男 性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	1.1
120.0 ～ 139.9	0.5	1.1	0.5	0.3	0.2	0.2	0.3	0.4	0.6	1.6	3.2
140.0 ～ 159.9	1.6	3.2	1.7	1.0	0.8	0.7	0.7	1.0	1.7	4.3	10.8
160.0 ～ 179.9	2.9	7.1	3.6	2.0	1.4	1.4	1.1	1.5	2.4	7.0	12.0
180.0 ～ 199.9	4.8	16.7	6.2	3.8	2.3	2.0	1.9	2.2	3.2	10.3	11.3
200.0 ～ 219.9	6.3	23.6	11.1	6.4	3.9	2.8	2.3	2.6	3.5	10.1	9.4
220.0 ～ 239.9	7.9	22.2	17.1	9.3	5.5	3.9	3.4	3.5	4.1	10.5	9.4
240.0 ～ 259.9	7.9	12.6	17.4	11.8	7.3	4.8	3.9	4.0	4.3	8.0	6.3
260.0 ～ 279.9	7.7	6.4	14.2	12.5	8.7	6.1	4.5	4.4	4.4	7.6	6.4
280.0 ～ 299.9	7.1	3.3	9.7	12.2	9.6	6.2	5.1	4.4	4.4	5.9	5.4
300.0 ～ 319.9	6.5	1.6	6.9	10.0	9.9	7.4	5.4	4.3	4.5	4.7	3.3
320.0 ～ 339.9	6.0	0.9	4.3	7.8	9.1	7.5	5.4	5.0	5.2	4.3	3.1
340.0 ～ 359.9	5.1	0.3	2.2	5.7	8.0	7.3	5.7	4.7	4.7	3.3	1.8
360.0 ～ 399.9	4.7	0.2	1.5	4.6	6.7	6.8	5.8	5.3	5.3	3.0	1.4
400.0 ～ 449.9	7.5	0.2	1.7	5.7	9.8	11.1	11.0	10.3	9.5	3.8	2.9
450.0 ～ 499.9	6.9	0.1	0.8	3.0	7.2	10.4	11.3	11.1	10.7	4.1	3.1
500.0 ～ 599.9	4.8	0.0	0.4	1.5	3.8	7.0	8.6	9.3	8.8	2.4	1.1
600.0 ～ 699.9	5.7	0.1	0.2	1.1	3.4	7.7	11.3	11.6	11.5	3.4	2.3
700.0 ～ 799.9	2.9	0.0	0.3	0.5	0.9	3.5	6.1	6.6	5.6	2.3	1.7
800.0 ～ 899.9	1.4	—	0.1	0.1	0.5	1.6	2.9	3.7	2.6	1.3	1.6
900.0 ～ 999.9	0.7	—	0.0	0.1	0.2	0.6	1.7	1.7	1.3	0.6	1.1
1000.0 ～ 1199.9	0.3	—	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	1.0	0.5	0.3	0.2
1200.0 ～	0.3	0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.5	0.6	0.4	0.4	0.4
	0.3	—	—	0.0	0.2	0.4	0.6	0.7	0.4	0.4	0.5
平 均 値 (千円)	328.3	200.7	238.5	277.8	319.9	368.1	411.1	417.9	390.8	281.4	257.5
第1・十分位数 (千円)	180.3	155.9	174.3	189.4	204.7	214.4	222.1	213.0	190.8	152.0	131.8
第1・四分位数 (千円)	222.2	176.6	202.2	223.6	247.7	269.7	287.0	283.6	262.6	182.2	156.8
中 位 数 (千円)	289.1	198.2	230.9	264.3	300.7	338.9	376.4	385.2	365.8	233.2	204.1
第3・四分位数 (千円)	389.8	220.9	265.6	313.1	365.5	430.7	492.0	505.0	484.0	320.4	278.5
第9・十分位数 (千円)	520.3	248.4	305.9	372.9	444.9	548.7	633.0	658.9	611.3	464.4	418.9
十分位分散係数	0.59 (0.57)	0.23 (0.23)	0.29 (0.28)	0.35 (0.34)	0.40 (0.39)	0.49 (0.47)	0.55 (0.51)	0.58 (0.55)	0.57 (0.56)	0.67 (0.68)	0.70 (0.79)
四分位分散係数	0.29 (0.29)	0.11 (0.11)	0.14 (0.13)	0.17 (0.17)	0.20 (0.19)	0.24 (0.23)	0.27 (0.26)	0.29 (0.27)	0.30 (0.30)	0.30 (0.31)	0.30 (0.31)

注： 1） 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、全労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べて、全労働者の所定の何番目に該当する者の賃金である。図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中 位 数 …… 低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2）分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。

一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{○ 十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

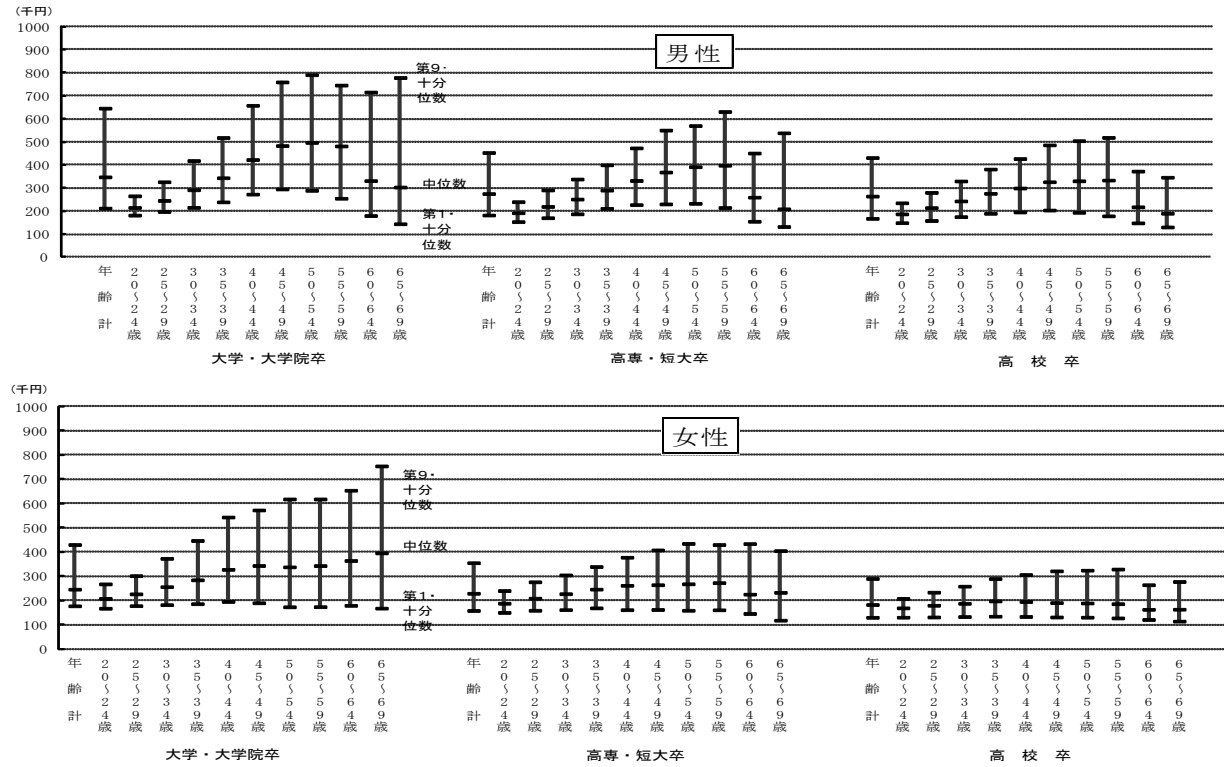
$$\text{○ 四分位分散係数} = \frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3）（ ）内は、平成22年の数値である。

第9表 賃金階級、性、年齢階級別労働者数割合（2－2）

賃 金 階 級	女性										
	年齢計	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳
計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
～ 99.9 (千円)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0 ～ 119.9	0.7	0.5	0.3	0.4	0.5	0.8	0.7	0.7	1.0	1.8	5.0
120.0 ～ 139.9	2.7	2.1	1.6	1.9	2.1	2.4	2.7	3.0	4.0	7.1	8.0
140.0 ～ 159.9	6.3	6.1	4.1	4.2	4.2	5.4	6.7	7.3	8.7	15.3	15.5
160.0 ～ 179.9	10.1	13.0	7.5	7.2	7.0	8.7	10.1	11.0	12.8	18.5	17.9
180.0 ～ 199.9	12.0	20.6	11.7	10.1	8.9	9.6	10.2	10.6	11.5	14.1	15.1
200.0 ～ 219.9	12.3	20.6	16.6	11.3	10.5	9.9	9.8	10.3	9.6	9.0	8.7
220.0 ～ 239.9	11.3	16.4	17.1	12.9	10.2	8.7	8.3	8.2	8.0	7.9	5.9
240.0 ～ 259.9	9.6	10.6	14.3	13.3	10.0	7.6	7.3	6.8	6.8	5.0	5.0
260.0 ～ 279.9	7.4	4.3	10.0	10.7	9.7	7.0	6.7	5.9	5.4	3.6	3.4
280.0 ～ 299.9	6.1	2.5	6.5	8.4	8.8	7.5	6.0	5.2	4.7	2.5	2.4
300.0 ～ 319.9	4.6	1.9	4.0	5.7	6.7	6.4	4.3	5.1	4.2	2.5	1.4
320.0 ～ 339.9	3.7	0.8	2.6	4.2	5.4	5.2	4.8	4.2	3.8	2.0	1.9
340.0 ～ 359.9	4.9	0.4	2.3	5.1	7.1	7.7	7.3	5.9	6.0	2.6	2.1
360.0 ～ 379.9	3.0	0.1	0.8	2.3	4.0	4.9	5.1	5.0	4.0	1.7	2.1
380.0 ～ 399.9	2.1	0.1	0.4	0.8	1.9	3.5	4.3	4.1	3.8	1.5	1.3
400.0 ～ 419.9	1.2	-	0.2	0.4	0.9	1.9	2.5	2.2	2.1	1.5	1.4
420.0 ～ 439.9	1.2	0.0	0.2	0.5	1.1	1.6	2.0	2.5	2.2	1.9	1.1
440.0 ～ 459.9	0.5	0.0	0.0	0.5	0.4	0.6	0.8	1.1	0.8	0.8	0.9
460.0 ～ 479.9	0.2	-	0.0	0.0	0.2	0.4	0.3	0.3	0.3	0.5	0.2
480.0 ～ 499.9	0.1	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.3
500.0 ～ 519.9	0.1	-	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
520.0 ～ 539.9	0.1	-	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3
平均 値 (千円)	231.9	190.7	215.0	233.1	247.5	254.1	253.2	251.9	239.3	205.2	198.0
第1・十分位数 (千円)	140.7	142.7	151.5	151.1	149.7	143.2	139.9	137.6	132.0	121.7	113.5
第1・四分位数 (千円)	169.1	163.6	179.9	182.5	184.1	176.1	169.6	165.7	157.6	140.9	135.9
中 位 数 (千円)	209.9	186.9	209.6	223.1	233.3	231.6	224.7	216.9	205.4	170.2	163.8
第3・四分位数 (千円)	268.4	213.8	243.4	267.4	288.2	304.5	310.7	304.3	291.1	224.3	214.7
第9・十分位数 (千円)	344.2	240.7	281.9	319.0	350.5	384.6	401.5	406.2	392.7	331.2	316.3
十分位分散係数	0.48	0.26	0.31	0.38	0.43	0.52	0.58	0.62	0.63	0.62	0.62
	(0.47)	(0.25)	(0.30)	(0.37)	(0.42)	(0.51)	(0.57)	(0.60)	(0.63)	(0.64)	(0.70)
四分位分散係数	0.24	0.13	0.15	0.19	0.22	0.28	0.31	0.32	0.33	0.25	0.24
	(0.23)	(0.13)	(0.15)	(0.19)	(0.22)	(0.27)	(0.30)	(0.32)	(0.30)	(0.26)	(0.26)

第8図 学歴、性、年齢階級別第1・十分位数、中位数及び第9・十分位数



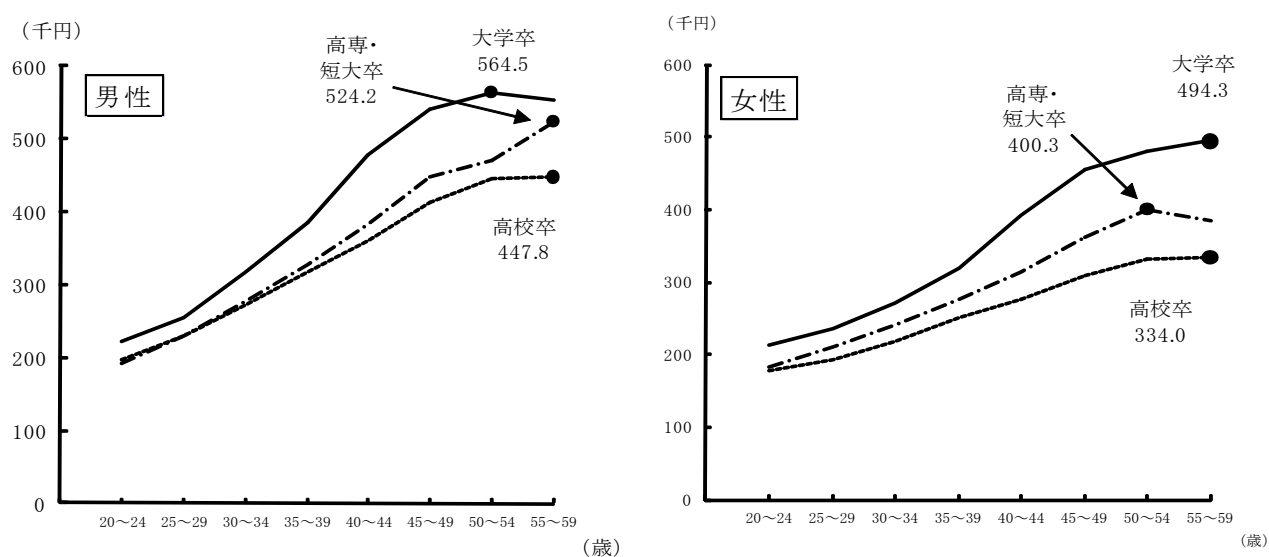
注:第9表 注:1)参照。

(8) 標準労働者の賃金

標準労働者について、賃金がピークとなる年齢階級を学歴別にみると、男性では、大学卒で50～54歳、高専・短大卒及び高校卒で55～59歳、女性では、大学卒及び高校卒で55～59歳、高専・短大卒で50～54歳となっている。

学歴別に20～24歳の賃金を100とすると、男性では、大学で賃金がピークとなる50～54歳で255、高専・短大卒及び高校卒で賃金がピークとなる55～59歳で高専・短大卒が273、高校卒が229、女性では、大学卒及び高校卒で賃金がピークとなる55～59歳で大学卒が233、高校卒が189、高専・短大卒で賃金がピークとなる50～54歳で、218となっている。（第9図、第10表）

第9図 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金



第10表 標準労働者の学歴、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

性、 年齢階級		大学卒			高専・短大卒			高校卒		
		賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
男性	年齢計	394.4	0.5	178	309.5	2.0	161	322.2	-0.9	164
	20～24歳	221.4	1.5	100	191.9	-0.4	100	195.9	1.5	100
	25～29	255.2	0.9	115	229.1	-1.0	119	230.8	-2.4	118
	30～34	316.8	-1.0	143	276.5	2.3	144	273.3	0.7	140
	35～39	386.2	-1.5	174	327.1	0.1	170	317.6	-0.6	162
	40～44	477.4	-0.3	216	382.1	2.7	199	361.1	-1.7	184
	45～49	542.2	1.6	245	449.1	1.3	234	412.5	-1.3	211
	50～54	564.5	-0.6	255	469.9	-1.0	245	446.8	-0.4	228
55～59	553.9	-0.4	250	524.2	6.0	273	447.8	-0.5	229	
女性	年齢計	259.7	1.5	122	240.1	1.2	131	228.0	1.3	129
	20～24歳	212.4	1.0	100	183.7	-0.3	100	176.5	0.3	100
	25～29	235.2	0.8	111	209.5	-1.7	114	194.1	-2.4	110
	30～34	272.0	-1.4	128	240.1	-1.6	131	219.2	-0.0	124
	35～39	318.8	-0.9	150	275.0	0.3	150	250.8	-1.2	142
	40～44	392.8	-0.9	185	312.7	-0.0	170	275.5	-1.1	156
	45～49	454.0	6.2	214	362.3	5.5	197	308.2	1.9	175
	50～54	480.0	-0.2	226	400.3	2.7	218	330.8	-4.0	187
55～59	494.3	9.3	233	384.9	-1.1	210	334.0	0.8	189	

(9) 製造業における労働者の種類別にみた賃金

製造業について、賃金がピークとなる年齢階級を労働者の種類別にみると、男性では、生産労働者が55～59歳で324.2千円、管理・事務・技術労働者が50～54歳で491.7千円、女性では、生産労働者が35～39歳で186.4千円、管理・事務・技術労働者が50～54歳で267.7千円となっている（第11表）。

第11表 製造業の労働者の種類、性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性						女性					
	生産労働者			管理・事務・技術労働者			生産労働者			管理・事務・技術労働者		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	266.4	-0.4	139	384.3	-0.8	183	174.7	1.8	107	237.8	-0.0	127
20～24歳	192.1	0.6	100	210.2	1.2	100	162.6	-0.2	100	187.1	-2.3	100
25～29	217.4	-0.1	113	249.9	1.5	119	171.1	-2.3	105	214.2	-2.0	114
30～34	242.4	-1.3	126	292.6	-0.6	139	180.4	1.0	111	228.2	-1.6	122
35～39	274.6	-0.7	143	343.7	-0.2	164	186.4	0.1	115	243.0	-2.7	130
40～44	298.3	0.3	155	404.1	-1.6	192	186.0	2.1	114	260.1	1.1	139
45～49	320.9	1.5	167	461.8	-1.2	220	185.2	5.0	114	262.2	0.4	140
50～54	320.5	-2.9	167	491.7	-0.2	234	177.4	3.0	109	267.7	3.3	143
55～59	324.2	-1.4	169	490.1	0.6	233	173.1	2.7	106	256.7	-0.4	137
60～64	226.5	-0.7	118	313.5	-5.4	149	150.3	1.3	92	206.2	1.3	110
平均年齢(歳)	40.4			43.2			43.6			39.6		
勤続年数(年)	13.7			17.0			10.5			12.0		

(10) 役職別にみた賃金

企業全体の常用労働者が100人以上の企業について、役職別の賃金をみると、男性では、部長級650.6千円（前年比1.6%増）、課長級522.1千円（同1.4%増）、係長級393.4千円（同0.3%増）、女性では、部長級559.3千円（同4.5%増）、課長級441.2千円（同2.2%増）、係長級360.4千円（同5.3%増）となっている（第12表）。

第12表 役職、性別賃金、対前年増減率、役職・非役職間賃金格差及び平均年齢
（企業規模100人以上）

役職	男性				女性			
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃 金格差(非役職者 20～24歳=100)	平均 年齢 (歳)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	役職・非役職間賃 金格差(非役職者 20～24歳=100)	平均 年齢 (歳)
部長級	650.6	1.6	314 (313)	51.8	559.3	4.5	275 (270)	52.0
課長級	522.1	1.4	252 (251)	47.4	441.2	2.2	217 (217)	47.4
係長級	393.4	0.3	190 (191)	43.6	360.4	5.3	177 (172)	43.4
非役職者 (20～24歳)	207.2	1.1	100 (100)		203.2	2.4	100 (100)	

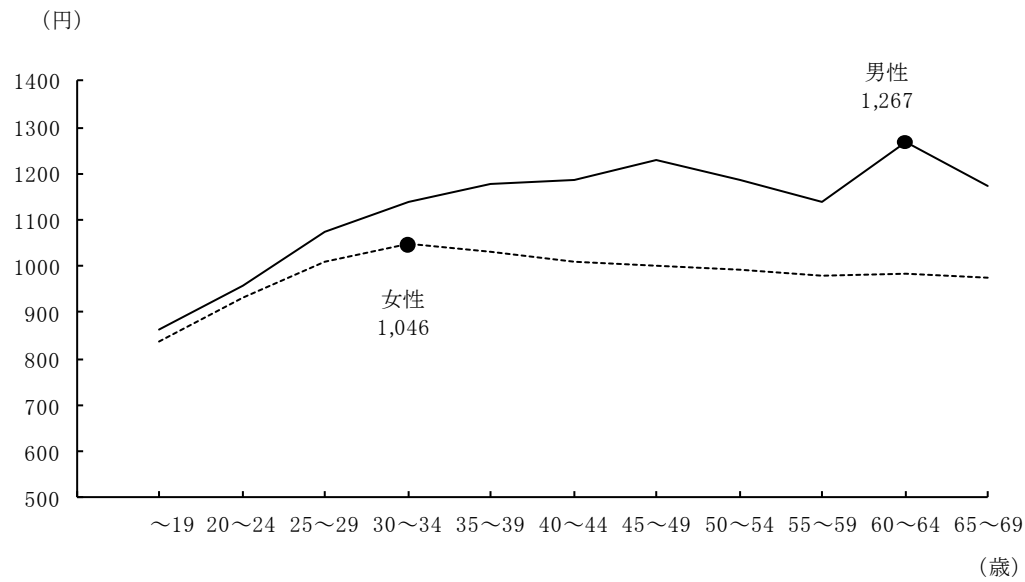
注：()内は、平成22年の数値である。

2 短時間労働者の賃金

(1) 年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間当たり賃金は、男性が1,092円（前年比1.0%増）、女性が988円（同0.9%増）となっている。男性では、25～29歳以上は1,000円を超えている。女性では、25～29歳、30歳代及び40歳代で1,000円台となっており、50歳代以降は900円台となっている。（第10図、第13表）

第10図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間当たり賃金



第13表 短時間労働者の年齢階級、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	1,092	1.0	114	988	0.9	106
～19歳	862	0.7	90	838	0.2	90
20～24	958	0.5	100	932	0.4	100
25～29	1,076	1.4	112	1,010	0.3	108
30～34	1,137	-1.1	119	1,046	1.9	112
35～39	1,176	2.7	123	1,030	2.3	111
40～44	1,188	3.4	124	1,008	1.3	108
45～49	1,228	3.3	128	1,002	0.4	108
50～54	1,185	0.0	124	993	1.0	107
55～59	1,140	1.6	119	978	0.8	105
60～64	1,267	5.1	132	984	0.4	106
65～69	1,175	-0.5	123	976	0.7	105
平均年齢(歳)	41.5			45.0		
平均実労働日数(日)	15.9			17.3		
平均1日当たり所定内実労働時間数(時間)	5.4			5.2		
勤続年数(年)	4.8			5.6		

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,053円（前年比1.0%増）、中企業が1,113円（同0.2%減）、小企業が1,119円（同2.1%増）、女性では、大企業が986円（同1.6%増）、中企業が990円（同1.0%減）、小企業が988円（同1.9%増）となっている（第14表）。

第14表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

企業規模	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)
大 企 業	1,053	1.0	100	986	1.6	100
中 企 業	1,113	-0.2	106	990	-1.0	100
小 企 業	1,119	2.1	106	988	1.9	100

(3) 産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超え、女性では医療、福祉が1,000円を超えている（第15表）。

第15表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率 (%)	産業間賃金格差 (産業計=100)
男 性	産業計	1,092	1.0	100
	製造業	1,172	2.1	107
	運輸業、郵便業	1,121	0.9	103
	卸売業、小売業	989	1.4	91
	宿泊業、飲食サービス業	916	-0.8	84
	サービス業(他に分類されないもの)	1,078	-0.5	99
女 性	産業計	988	0.9	100
	製造業	897	1.5	91
	卸売業、小売業	921	0.9	93
	宿泊業、飲食サービス業	890	0.0	90
	医療、福祉	1,221	0.7	124
	サービス業(他に分類されないもの)	963	2.0	97

注：産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。

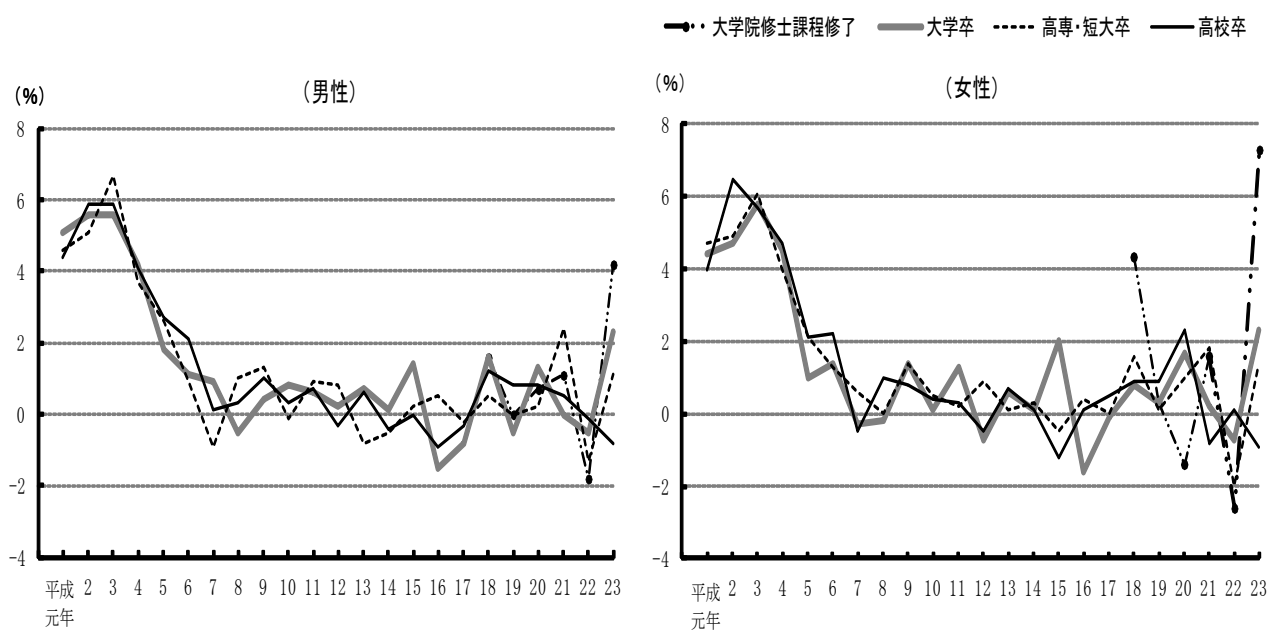
3 新規学卒者の初任給

(1) 学歴別にみた初任給

平成 23 年の初任給を高校卒以上の学歴別にみると、以下のとおりになっている。

男女計	大学院修士課程修了	234.5 千円	(対前年増減率 4.7%)
	大学卒	202.0 千円	(" 2.3%)
	高専・短大卒	172.5 千円	(" 1.3%)
	高校卒	156.5 千円	(" -0.8%)
男性	大学院修士課程修了	233.9 千円	(対前年増減率 4.2%)
	大学卒	205.0 千円	(" 2.3%)
	高専・短大卒	175.5 千円	(" 1.1%)
	高校卒	159.4 千円	(" -0.8%)
女性	大学院修士課程修了	237.3 千円	(対前年増減率 7.3%)
	大学卒	197.9 千円	(" 2.3%)
	高専・短大卒	170.5 千円	(" 1.4%)
	高校卒	151.8 千円	(" -0.9%)

第11図 性、学歴別初任給の対前年増減率の推移



注：大学院修士課程修了については、平成17年から調査している。

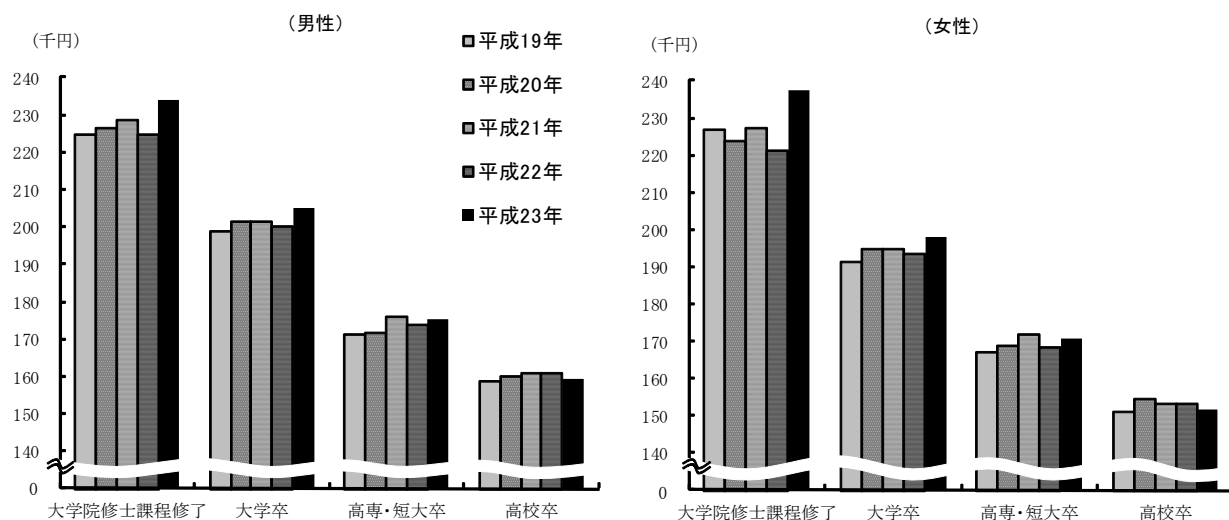
男女計、男女別ともに高校卒を除き前年を上回っている（第11図、第16表、第12図）。

第16表 性、学歴別初任給の推移

年	男 女 計				男 性				女 性			
	大学院修士課程修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒	大学院修士課程修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒	大学院修士課程修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒
平成 19年	千円 225.0 (0.1)	千円 195.8 (-0.3)	千円 168.5 (0.0)	千円 155.7 (0.8)	千円 224.6 (0.0)	千円 198.8 (-0.5)	千円 171.2 (0.0)	千円 158.8 (0.8)	千円 226.7 (0.3)	千円 191.4 (0.3)	千円 166.9 (0.1)	千円 150.8 (0.9)
20	225.9 (0.4)	198.7 (1.5)	169.7 (0.7)	157.7 (1.3)	226.2 (0.7)	201.3 (1.3)	171.6 (0.2)	160.0 (0.8)	223.6 (-1.4)	194.6 (1.7)	168.6 (1.0)	154.3 (2.3)
21	228.4 (1.1)	198.8 (0.1)	173.2 (2.1)	157.8 (0.1)	228.6 (1.1)	201.4 (0.0)	175.8 (2.4)	160.8 (0.5)	227.1 (1.6)	194.9 (0.2)	171.7 (1.8)	153.0 (-0.8)
22	224.0 (-1.9)	197.4 (-0.7)	170.3 (-1.7)	157.8 (0.0)	224.5 (-1.8)	200.3 (-0.5)	173.6 (-1.3)	160.7 (-0.1)	221.2 (-2.6)	193.5 (-0.7)	168.2 (-2.0)	153.2 (0.1)
23	234.5 (4.7)	202.0 (2.3)	172.5 (1.3)	156.5 (-0.8)	233.9 (4.2)	205.0 (2.3)	175.5 (1.1)	159.4 (-0.8)	237.3 (7.3)	197.9 (2.3)	170.5 (1.4)	151.8 (-0.9)

注：（ ）内は、対前年増減率(%)である。

第12図 性、学歴別初任給の推移



(2) 企業規模別にみた初任給

企業規模別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、大企業（常用労働者1,000人以上）及び中企業（同100～999人）で男女ともに前年を上回っている。一方、小企業（同10～99人）の男女は、ともに前年を下回っている。また、高校卒では、大企業の男性を除き、男女ともに前年を下回っている。

初任給の企業規模間格差（大企業＝100）をみると、大学卒では、中企業の男性を除き、格差が拡大している。（第17表）

第17表 性、企業規模、学歴別初任給及び対前年増減率、企業規模間格差の推移

性、企業規模			大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒		
			初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)	初任給 (千円)		対前年 増減率 (%)
			平成23年	22年		平成23年	22年		平成23年	22年		平成23年	22年	
初任給及び対前年増減率	男女計	企業規模計	234.5	224.0	4.7	202.0	197.4	2.3	172.5	170.3	1.3	156.5	157.8	-0.8
		大 企 業	235.8	227.0	3.9	207.3	198.3	4.5	183.0	174.6	4.8	159.0	158.9	0.1
		中 企 業	237.5	219.5	8.2	202.2	197.2	2.5	172.8	170.8	1.2	155.7	156.8	-0.7
		小 企 業	205.6	218.5	-5.9	189.5	195.9	-3.3	168.4	168.3	0.1	155.5	158.3	-1.8
	男性	企業規模計	233.9	224.5	4.2	205.0	200.3	2.3	175.5	173.6	1.1	159.4	160.7	-0.8
		大 企 業	233.9	226.9	3.1	207.5	201.2	3.1	178.0	177.7	0.2	160.3	160.0	0.2
		中 企 業	237.4	219.7	8.1	206.3	199.7	3.3	174.7	172.7	1.2	158.6	159.1	-0.3
		小 企 業	209.9	224.1	-6.3	194.3	199.8	-2.8	175.1	172.2	1.7	159.8	163.7	-2.4
	女性	企業規模計	237.3	221.2	7.3	197.9	193.5	2.3	170.5	168.2	1.4	151.8	153.2	-0.9
		大 企 業	245.9	227.1	8.3	207.1	194.5	6.5	188.2	171.5	9.7	155.9	156.6	-0.4
		中 企 業	238.1	218.8	8.8	195.8	193.4	1.2	171.2	168.8	1.4	151.7	153.4	-1.1
		小 企 業	196.6	204.7	-4.0	185.3	191.5	-3.2	165.5	167.0	-0.9	149.1	151.1	-1.3
企業規模間格差	男女計	中 企 業	101	97	/	98	99	/	94	98	/	98	99	/
		小 企 業	87	96	/	91	99	/	92	96	/	98	100	/
	男性	中 企 業	101	97	/	99	99	/	98	97	/	99	99	/
		小 企 業	90	99	/	94	99	/	98	97	/	100	102	/
	女性	中 企 業	97	96	/	95	99	/	91	98	/	97	98	/
		小 企 業	80	90	/	89	98	/	88	97	/	96	96	/

注：1） 常用労働者1,000人以上の企業を大企業、100～999人の企業を中企業、10～99人の企業を小企業としている。

2） 企業規模間格差は、大企業の初任給を100としている。

(3) 産業別にみた初任給

主要産業別の初任給を学歴別にみると、大学卒では、男女ともに学術研究，専門・技術サービス業（男性248.3千円、女性227.7千円）が最も高くなっている。一方、最も低い産業は、男性は医療，福祉（192.2千円）、女性は宿泊業，飲食サービス業（185.4千円）となっている。高校卒では、男女ともに生活関連サービス業，娯楽業（男性172.0千円、女性161.9千円）が最も高くなっている。一方、最も低い産業は、男性は医療，福祉（143.9千円）、女性はサービス業（他に分類されないもの）（142.8千円）となっている。（第18表）

第18表 性、産業、学歴別初任給及び対前年増減率の推移

性、産業		大学院修士課程修了			大 学 卒			高専・短大卒			高 校 卒		
		初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)	初任給 (千円)		対前年 増減率(%)
		平成23年	22年		平成23年	22年		平成23年	22年		平成23年	22年	
男	産 業 計	234.5	224.0	4.7	202.0	197.4	2.3	172.5	170.3	1.3	156.5	157.8	-0.8
	建 設 業	226.0	223.3	1.2	199.8	198.3	0.8	169.2	175.0	-3.3	167.9	162.1	3.6
	製 造 業	223.7	224.1	-0.2	196.9	201.1	-2.1	171.9	172.1	-0.1	157.8	159.7	-1.2
	情 報 通 信 業	253.0	225.3	12.3	224.2	211.9	5.8	185.8	180.8	2.8	154.5	158.5	-2.5
	運 輸 業， 郵 便 業	220.9	215.0	2.7	194.9	189.3	3.0	168.4	170.6	-1.3	160.8	157.6	2.0
	卸 売 業， 小 売 業	232.9	215.1	8.3	197.4	197.7	-0.2	171.9	170.5	0.8	157.2	158.0	-0.5
	金 融 業， 保 険 業	223.3	211.9	5.4	194.2	188.6	3.0	157.4	155.3	1.4	148.5	148.8	-0.2
	学術研究，専門・技術サービス業	251.9	233.6	7.8	240.9	206.4	16.7	179.2	166.9	7.4	155.1	160.8	-3.5
	宿泊業，飲食サービス業	207.6	* 200.0	3.8	190.9	191.9	-0.5	163.9	163.4	0.3	151.3	154.7	-2.2
	生活関連サービス業，娯楽業	* 205.7	212.3	-3.1	211.0	216.3	-2.5	167.5	168.3	-0.5	164.4	166.9	-1.5
	教育，学 習 支 援 業	232.9	226.2	3.0	196.5	199.3	-1.4	172.6	173.8	-0.7	153.3	154.9	-1.0
	医 療， 福 祉	227.6	215.7	5.5	194.1	192.7	0.7	174.3	170.3	2.3	146.2	147.4	-0.8
	サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	221.7	213.9	3.6	195.4	190.1	2.8	166.6	164.2	1.5	151.5	155.2	-2.4
女	産 業 計	233.9	224.5	4.2	205.0	200.3	2.3	175.5	173.6	1.1	159.4	160.7	-0.8
	建 設 業	225.7	224.1	0.7	201.2	200.5	0.3	169.4	176.3	-3.9	168.7	162.7	3.7
	製 造 業	224.1	224.4	-0.1	197.9	202.1	-2.1	175.0	174.7	0.2	159.5	161.7	-1.4
	情 報 通 信 業	251.0	224.3	11.9	223.9	213.1	5.1	190.2	180.1	5.6	160.9	168.9	-4.7
	運 輸 業， 郵 便 業	221.5	215.5	2.8	193.9	190.3	1.9	177.3	178.0	-0.4	160.4	158.5	1.2
	卸 売 業， 小 売 業	235.3	216.8	8.5	199.1	200.3	-0.6	172.6	170.4	1.3	158.3	160.6	-1.4
	金 融 業， 保 険 業	226.2	212.5	6.4	198.3	193.6	2.4	164.6	179.7	-8.4	157.3	144.7	8.7
	学術研究，専門・技術サービス業	250.0	234.7	6.5	248.3	208.1	19.3	196.8	167.4	17.6	158.3	155.9	1.5
	宿泊業，飲食サービス業	* 211.1	-	-	199.1	194.9	2.2	165.1	163.8	0.8	153.4	157.5	-2.6
	生活関連サービス業，娯楽業	* 218.2	215.1	1.4	222.2	224.6	-1.1	166.2	174.1	-4.5	172.0	170.1	1.1
	教育，学 習 支 援 業	237.9	231.1	2.9	203.2	201.2	1.0	165.9	177.6	-6.6	157.5	159.0	-0.9
	医 療， 福 祉	223.0	213.3	4.5	192.2	187.8	2.3	177.0	180.0	-1.7	143.9	145.0	-0.8
	サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	218.6	216.0	1.2	197.2	192.7	2.3	170.3	164.9	3.3	154.9	158.5	-2.3
男	産 業 計	237.3	221.2	7.3	197.9	193.5	2.3	170.5	168.2	1.4	151.8	153.2	-0.9
	建 設 業	228.9	218.1	5.0	195.1	190.4	2.5	168.5	170.2	-1.0	146.5	155.2	-5.6
	製 造 業	220.5	222.2	-0.8	194.0	197.6	-1.8	166.4	167.3	-0.5	152.4	153.9	-1.0
	情 報 通 信 業	263.6	230.8	14.2	224.5	209.7	7.1	178.2	182.2	-2.2	145.2	150.8	-3.7
	運 輸 業， 郵 便 業	213.0	210.1	1.4	197.6	187.7	5.3	159.3	162.5	-2.0	161.7	155.6	3.9
	卸 売 業， 小 売 業	230.2	212.0	8.6	194.9	193.7	0.6	171.0	170.7	0.2	156.6	155.7	0.6
	金 融 業， 保 険 業	214.3	208.7	2.7	190.3	184.1	3.4	157.2	155.1	1.4	146.9	148.9	-1.3
	学術研究，専門・技術サービス業	259.4	228.6	13.5	227.7	203.3	12.0	163.3	166.5	-1.9	149.4	164.7	-9.3
	宿泊業，飲食サービス業	* 200.7	* 200.0	0.4	185.4	188.7	-1.7	162.9	163.1	-0.1	150.0	153.2	-2.1
	生活関連サービス業，娯楽業	* 168.3	* 201.0	-16.3	202.4	204.3	-0.9	168.2	164.4	2.3	161.9	165.5	-2.2
	教育，学 習 支 援 業	225.8	220.6	2.4	193.3	198.7	-2.7	173.2	173.6	-0.2	152.0	146.4	3.8
	医 療， 福 祉	230.3	217.5	5.9	195.0	195.0	0.0	173.3	168.1	3.1	147.0	147.9	-0.6
	サ ー ビ ス 業 (他に分類されないもの)	* 235.4	200.7	17.3	192.5	183.3	5.0	160.1	162.5	-1.5	142.8	150.3	-5.0

注：1 産業計には、上掲の産業のほか、鉱業，採石業，砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、不動産業，物品賃貸業、複合サービス事業を含む。
2 「*」は、新規学卒採用者が少ない等、利用に際し注意を要する。
3 「-」は、新規学卒採用者がいない。

(4) 初任給の分布

初任給の分布をみると、大学卒では、男女とも20万円台が最も多く、それぞれ32.6%、23.9%となっている。高校卒では、男性で16万円台が最も多く（34.2%）、女性で15万円台が最も多く（23.8%）となっている。（第19表）

第 19 表 初任給の階級、性、学歴別新規学卒採用者数割合

初任給の階級	男 女 計				男性				女性			
	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒	大学院 修士課程 修了	大 学 卒	高専・短大卒	高 校 卒
千円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 109.9				0.2				0.2				0.2
110.0 ～ 119.9				0.9				0.6				1.3
120.0 ～ 129.9			1.1	3.9			1.4	2.0			0.8	7.1
130.0 ～ 139.9			3.1	9.4			1.9	6.4			3.9	14.3
140.0 ～ 149.9		2.0	8.1	14.0		1.6	5.2	9.9		2.7	9.9	20.6
150.0 ～ 159.9		2.5	15.6	26.7		1.9	12.9	28.5		3.3	17.5	23.8
160.0 ～ 169.9	0.3	4.8	19.0	29.4	0.3	3.5	15.1	34.2	0.5	6.5	21.7	21.4
170.0 ～ 179.9	1.6	10.2	19.9	8.6	0.8	8.3	23.0	10.4	5.4	12.6	17.8	5.7
180.0 ～ 189.9	1.2	11.4	17.2	3.7	0.7	9.5	22.4	3.7	3.2	13.8	13.7	3.6
190.0 ～ 199.9	2.1	14.4	5.0	1.3	2.1	14.9	6.6	1.7	2.0	13.8	3.9	0.7
200.0 ～ 209.9	5.7	28.9	4.7	2.0	5.3	32.6	4.1	2.4	7.2	23.9	5.1	1.3
210.0 ～ 219.9	14.8	9.3	2.7		15.3	9.8	4.0		12.6	8.5	1.8	
220.0 ～ 229.9	35.9	4.2	0.1		40.2	4.1	0.2		17.5	4.2	0.1	
230.0 ～ 239.9	12.0	2.5	3.5		12.5	2.5	3.2		10.0	2.4	3.7	
240.0 ～ 249.9	5.9	1.3			6.0	0.9			5.7	1.7		
250.0 ～ 259.9	5.8	1.4			3.3	1.9			16.3	0.8		
260.0 ～ 269.9	0.6	4.7			0.7	5.5			0.5	3.7		
270.0 ～ 279.9	0.5				0.4				1.1			
280.0 ～ 299.9	7.4				6.6				10.6			
300.0 ～	6.2	2.6			5.9	2.9			7.4	2.2		
平 均 額 (千円)	234.5 (224.0)	202.0 (197.4)	172.5 (170.3)	156.5 (157.8)	233.9 (224.5)	205.0 (200.3)	175.5 (173.6)	159.4 (160.7)	237.3 (221.2)	197.9 (193.5)	170.5 (168.2)	151.8 (153.2)
第1・十分位数(千円)	208.4 (204.2)	170.6 (171.0)	147.2 (145.6)	135.1 (136.8)	210.5 (206.1)	173.4 (173.8)	151.8 (148.8)	140.8 (142.3)	195.5 (202.1)	166.5 (166.7)	145.5 (144.4)	130.8 (131.5)
中 位 数 (千円)	228.3 (225.9)	201.0 (200.5)	171.2 (169.4)	158.5 (160.0)	228.1 (226.6)	202.1 (201.4)	175.4 (172.8)	160.4 (161.6)	230.7 (221.2)	197.6 (196.2)	167.9 (167.0)	152.3 (154.1)
第9・十分位数(千円)	286.2 (242.4)	239.6 (221.6)	201.5 (193.7)	175.5 (176.1)	285.9 (241.6)	250.8 (222.2)	207.6 (196.6)	178.0 (176.6)	286.9 (244.9)	231.6 (221.0)	200.8 (192.2)	171.1 (171.5)
十 分 位 分 散 係 数	0.17 (0.08)	0.17 (0.13)	0.16 (0.14)	0.13 (0.12)	0.17 (0.08)	0.19 (0.12)	0.16 (0.14)	0.12 (0.11)	0.20 (0.10)	0.16 (0.14)	0.16 (0.14)	0.13 (0.13)

注：1） 百分数とは、分布の形を示す値である。具体的には、新規学卒採用者を初任給の低い者から高い者へと一列に並べて、低い方から全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第1・十分位数、高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の初任給が第9・十分位数、低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目（真ん中）に該当する者の初任給が中位数である。

2） 十分位分散係数とは、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。
一般に、その値が小さいほど分布の広がりの程度が小さいことを示す。

$$\text{十分位分散係数} = \frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$$

3） （ ） 内は、平成22年の数値である。

